



ゲーム・SNS上でのコミュニケーション

児童支援専任 安井要介

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。出勤途中に、雨を一身に受けるガクアジサイを見付け、心が洗われる気持ちになります。私は、全校の子どもたちが安心して自分らしく学校生活を送れるように、児童支援の推進役として、連絡や調整を担当しています。

さて、梅雨を目前に控え、子どもたちにとっては、ゲームやSNSとともに過ごす時間が長くなる季節かと思えます。インターネットという言葉が周囲で話され始め、まだポケベルが使われていた頃に二十歳前後を過ごした身としては、今の情報機器の発展、浸透には本当に驚きます。

唐突ですが、「コミュニケーションって何?」と子どもたちに聞かれたら、皆さんはなんと答えますか?

私は、自分も未だに上手くできないことが多いですが、「相手の気持ちを受け止め、共有すること。違いも含めて、分かち合うこと。」ではないかと思っています。実はこの「相手の気持ちを受け止め、共有し、分かち合うこと」は、子どもたちは普段の学習・生活場面では、発達段階に応じて、意識しています。また、保護者の皆様も気にかけてくださり、お子様にアドバイスしていただいていると感じています。ただ、これがゲームやSNSでのやり取りの中となるとどうでしょうか…。子どもたちにはまだ、「ゲームやSNSの向こう側には、リアルな人がいること」が意識しにくいようです。

そこで、稲荷台小学校では、5月に1～4年生はNPO法人情報セキュリティフォーラムに、情報機器の適切な扱い方と危険性について、授業をしていただきました。今後、5・6年生は戸部警察署の方より、同様の授業をしていただく予定です。

ただ、情報機器はご家庭での使用もあるため、保護者の皆様のご協力なしには子どもたちを守り切れません。インターネットも空間なので、お子様が一人で外に出かけるのと同様に、大人が見守る必要があります。

子どもたちが興味のあるSNS(YouTube・LINE・TikTok・X・Instagram・Facebook)やゲーム(Fortniteなど)の利用推奨対象年齢は12～13歳以上が多く、利用には保護者の皆様の同意・見守りが必要なものがあります。そこで、保護者の皆様には6月はぜひ次のことをお願いしたいです。

- ① お子さんに貸し与えた情報機器(スマホ、ゲーム機等)の使用状況を確認してください。
- ② フィルタリング等で、有害な情報からお子さんを守ってください。
- ③ 「一度インターネット上に情報が流れると、流れた前の状況には戻れない。」
「誹謗中傷(相手の悪口を言う、ネット上に書き込む等)は決して許されない行為である」
「SNSで知り合った見知らぬ人と会うことは、とても危険性の高いことである」
ことを特に伝えてください。

緑の紫陽花の花言葉は「辛抱強い愛情」だそうです。利便性や楽しさが勝り、すぐには子どもたちに伝わらない時もあるかもしれませんが…、情報機器を使う子も使わない子も、皆が幸せな子ども時代を過ごすためにも、皆様のご協力をよろしく願いいたします。